

# 令和5年度 山形県地域年金展開事業 取組結果報告書

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月31日

山形年金事務所  
(山形県代表年金事務所)



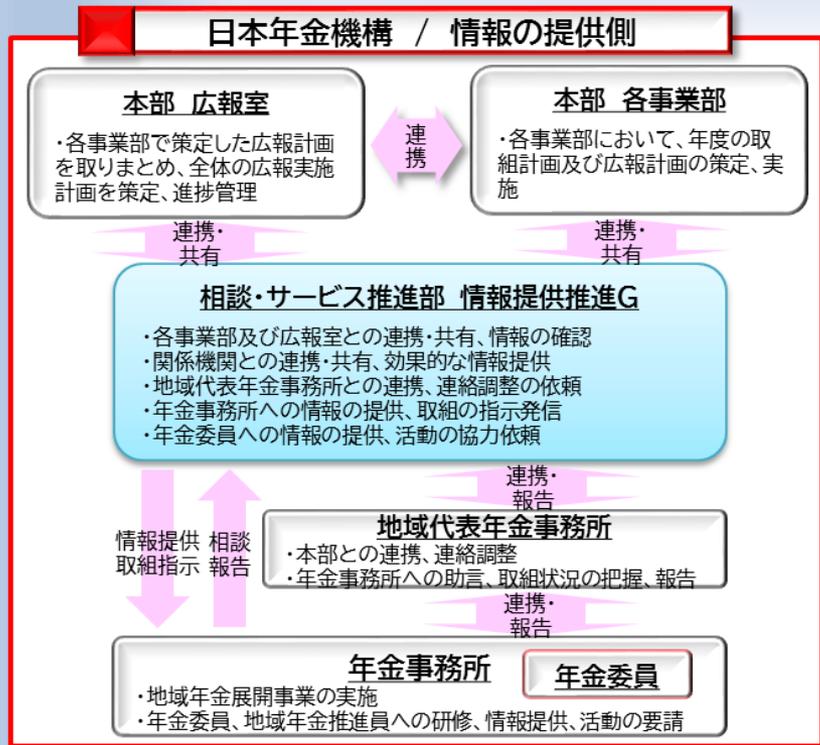
日本年金機構

Japan Pension Service

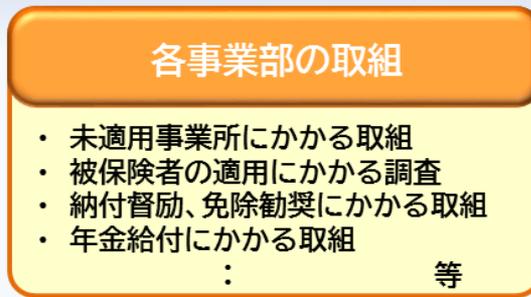
# 目次

- 1 地域年金展開事業の概要
- 2 地域連携事業
- 3 年金セミナー事業
- 4 地域相談事業
- 5 年金委員活動支援事業
- 6 「ねんきん月間」・「年金の日」の取り組み
- 7 第15回山形県年金ポスターコンクール
- 8 「わたしと年金」エッセイ
- 9 第19回山形県地域年金事業運営調整会議

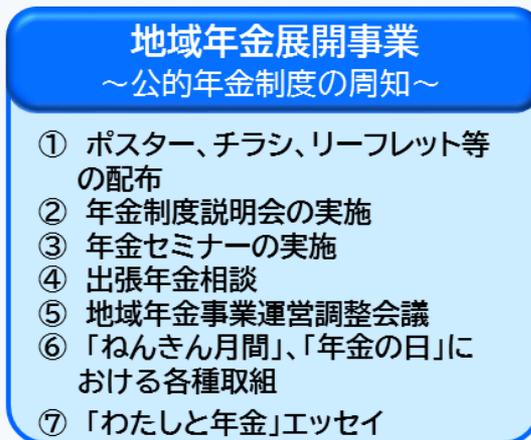
# 1 地域年金展開事業の概要



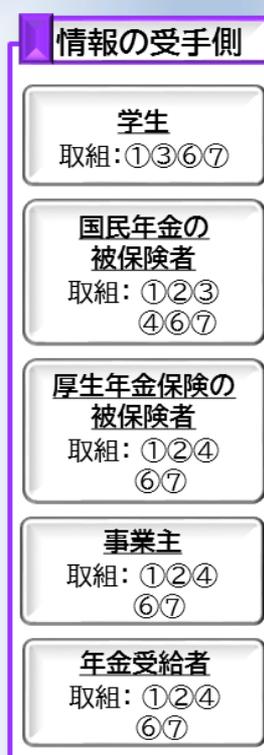
各事業部の策定



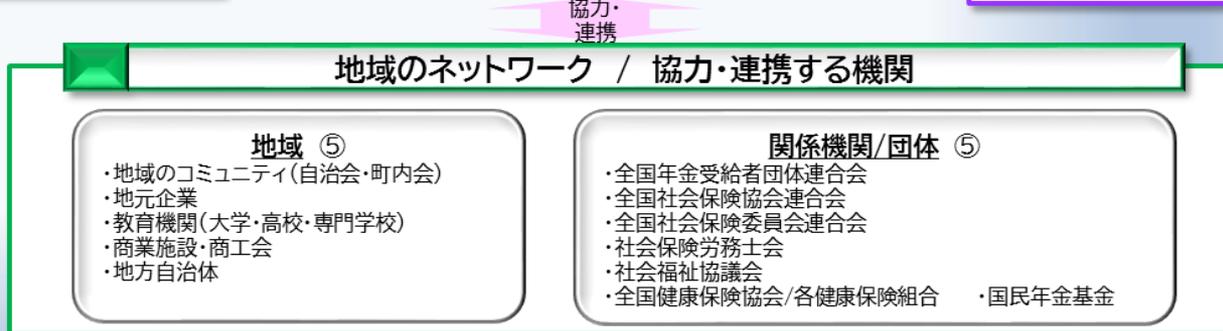
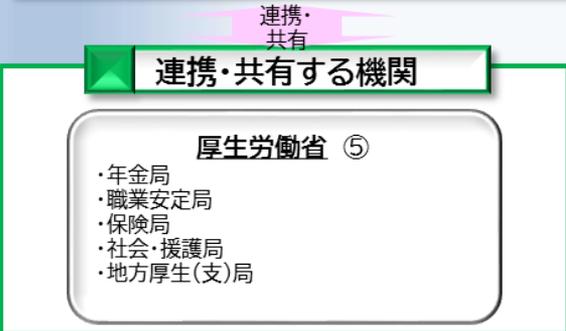
地域年金展開事業の策定



各事業の実施



年金制度の周知・啓発



## 地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆ 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆ また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

### 《本来の取組内容》

地域連携事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。</li><li>・ 市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。</li></ul>
年金セミナー事業	職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。
地域相談事業	年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。
年金委員活動支援事業	年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。
地域年金事業運営調整会議	公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

## 2 地域連携事業

### (1) 年金制度説明会の開催および研修会等への講師派遣状況

年金制度の周知を図るため、年金制度説明会の開催や関係機関・関係団体や企業が主催する研修会等に講師を派遣しました。また、県全体の取り組みとして、県内年金事務所で講師を分担し、事業所への電子申請に関する説明会や国民年金に加入した20歳の方を対象とした制度説明会を開催しました。

事務所	社会保険協会		社会保険 労務士会		企業・その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
山形	4回	183名	2回	69名	4回	261名	10回	513名
鶴岡	4回	146名	1回	30名	5回	271名	10回	447名
米沢	3回	74名	0回	0名	4回	144名	7回	218名
新庄	2回	34名	0回	0名	2回	104名	4回	138名
寒河江	3回	59名	1回	15名	3回	200名	7回	274名
県全体	—	—	—	—	26回	327名	26回	327名
合計	16回	496名	4回	114名	44回	1,307名	64回	1,917名
(参考) 令和4年度	16回	414名	6回	192名	53回	457名	75回	1,063名

## (2) 関係機関・関係団体との打合せ等状況

年金制度の周知・啓発事業を推進するため、関係団体等との打合せ等を実施しました。主な取り組みは次のとおりです。

- ・一般財団法人山形県社会保険協会と連絡協議会を開催し、年金制度研修会等への講師派遣や広報誌「社会保険やまがた」へ年金制度の記事を提供するなど連携を図りました。
- ・山形県社会保険労務士会と業務連絡会議を開催し、年金相談窓口等の運營業務委託に関する調整や厚生年金適用・調査事務にかかる打合せを行いました。
- ・全国健康保険協会山形支部と連絡会議を開催し、年金委員・健康保険委員功労者表彰式の開催や年金委員・健康保険委員研修会などに連携を図りました。
- ・各地区社会保険委員会の定例会議等に参加し打合せを実施しました。

事務所	社会保険協会	社会保険労務士会	全国健康保険協会山形支部	年金協会	官公署	地区社会保険委員会	合計
	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
山形	11回	18回	6回	3回	10回	9回	57回
鶴岡	2回	7回	0回	2回	0回	4回	15回
米沢	3回	0回	0回	3回	1回	2回	9回
新庄	2回	0回	0回	0回	0回	2回	4回
寒河江	3回	0回	0回	4回	0回	6回	13回
合計	21回	25回	6回	12回	11回	23回	98回
(参考) 令和4年度	21回	25回	7回	10回	11回	21回	95回

### (3)市町村担当者との打合せ等状況

年金事業の円滑な運営・推進のためには市町村との連携が不可欠であることから、市町村の国民年金担当職員と研修会や打合せを行いました。県全体の取り組みとして、市町村国民年金新任担当者を対象とした研修会を開催しました。また、制度周知・啓発のため、市町村担当者向け情報誌「かけはし」の提供を始め、ポスターやリーフレットの設置依頼などを行いました。

事務所	研修会		打合せ等		連携 (かけはし、ポスター・リーフレットの送付等)
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
山形	2回	12名	8回	25名	24回
鶴岡	2回	22名	6回	9名	7回
米沢	2回	19名	9回	19名	13回
新庄	3回	27名	11回	22名	13回
寒河江	2回	13名	10回	20名	10回
県全体	1回	34名	—	—	—
合計	12回	127名	44回	95名	67回
(参考) 令和4年度	26回	401名	25回	52名	38回

### 3 年金セミナー事業

#### (1) 教育機関別の年金セミナー実施状況

次世代の主役となる若年層から年金制度の仕組みや必要性に理解を深め、納付意識の向上や年金受給権に結びつけるために年金セミナー事業を推進してきました。令和5年度においても、県教育関係各部署より事業の趣旨にご理解をいただき、各学校に年金セミナー開催を依頼しました。

元学校長の方に委嘱している地域年金推進員や年金事務所担当者のアプローチにより、多くの学校のご協力をいただき年金セミナーを開催しました。

事務所	大学・短大			専修学校・各種学校			高等学校			中学校			特別支援学校			合計		
	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数
山形	8校	0校	0名	17校	13校	948名	19校	9校	1,506名	25校	0校	0名	9校	1校	25名	78校	23校	2,479名
鶴岡	3校	1校	100名	5校	1校	29名	15校	3校	61名	22校	0校	0名	3校	0校	0名	48校	5校	190名
米沢	3校	1校	77名	2校	2校	53名	14校	0校	0名	18校	0校	0名	3校	0校	0名	40校	3校	130名
新庄	—	—	—	3校	1校	54名	8校	2校	53名	15校	0校	0名	1校	0校	0名	27校	3校	107名
寒河江	—	—	—	—	—	—	6校	4校	286名	16校	0校	0名	3校	0校	0名	25校	4校	286名
合計	14校	2校	177名	27校	17校	1,084名	62校	18校	1,906名	96校	0校	0名	19校	1校	25名	218校	38校	3,192名
(参考) 令和4年度	14校	2校	109名	27校	8校	492名	62校	18校	2,448名	96校	0校	0名	19校	1校	25名	218校	29校	3,074名

## (2)年金セミナーのアンケート結果

年金セミナーを実施した際に、年金のイメージや講義内容、年金制度の理解度等についてアンケートを実施しています。アンケート結果から、セミナー受講前とセミナー受講後では、年金に対するイメージが大幅に改善されています。

### 「とても良い、まあ良い」と回答した人数と割合

事務所	大学・短大		専修学校・各種学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	受講前 人数 (割合)	受講後 人数 (割合)								
山形	—	—	389名 (41.0%)	787名 (83.0%)	689名 (45.8%)	1,301名 (86.4%)	21名 (84%)	23名 (92%)	1,099名 (44.3%)	2,111名 (85.2%)
鶴岡	66名 (66%)	93名 (93%)	9名 (31.0%)	27名 (93.1%)	19名 (31.1%)	41名 (67.2%)	—	—	94名 (49.5%)	161名 (84.7%)
米沢	19名 (24.7%)	70名 (90.9%)	9名 (17.0%)	46名 (86.8%)	—	—	—	—	28名 (21.5%)	116名 (89.2%)
新庄	—	—	30名 (55.6%)	41名 (75.9%)	16名 (30.2%)	50名 (94.3%)	—	—	46名 (43.0%)	91名 (85.0%)
寒河江	—	—	—	—	113名 (39.5%)	246名 (86.0%)	—	—	113名 (39.5%)	246名 (86.0%)
合計	85名 (48.0%)	163名 (92.1%)	437名 (40.3%)	901名 (83.1%)	837名 (43.9%)	1,638名 (85.9%)	21名 (84%)	23名 (92%)	1,380名 (43.2%)	2,725名 (85.4%)

## 4 地域相談事業

### (1) 年金事務所以外での出張年金相談の実施状況

年金事務所に出向くことが難しいお客様の利便性向上を図るため、出張年金相談を実施しています。

年金相談の周知・広報については、「日本年金機構からのお知らせ」に記事を掲載するとともに、市町村広報誌においても記事掲載の協力を得て実施しています。

また、県民が年金を身近に感じてもらう機会を増やすため、大型商業施設を利用した年金相談会を6月と11月に開催しました。

事務所	実施場所	実施計画日/回数	合計	相談者数
山形	イオンモール天童	6月・11月	2回	19名
米沢	長井市役所	4月・7月・10月・1月に各1回	4回	15名
	小国町役場	5月・8月・11月・2月に各1回	4回	12名
	白鷹町役場	6月・9月・12月・3月に各1回	4回	16名
新庄	尾花沢市役所	毎月1回	12回	56名
	大石田町役場	偶数月に1回	6回	26名
合計			32回	144名
(参考) 令和4年度			32回	139名

## (2)ハローワークにおける説明会での年金制度説明会実施状況

ハローワーク米沢、ハローワーク新庄、ハローワーク村山では、離職者説明会の中で時間をいただいて、国民年金に関する手続きの周知を図り、国民年金保険料免除制度の説明や相談を実施しました。その他のハローワークへは、離職者への雇用保険説明会動画(DVD)の視聴と年金制度チラシの配布を依頼しました。

開催事務所・場所	回数	参加人数
山形(ハローワークやまがた)	0回	0人
鶴岡(ハローワーク鶴岡・酒田)	0回	0人
米沢(ハローワーク米沢)	57回	1,462人
米沢(ハローワーク長井)	0回	0人
新庄(ハローワーク新庄)	53回	716人
寒河江(ハローワーク寒河江)	0回	0人
寒河江(ハローワーク村山)	23回	779人
合 計	133回	2,957人
(参考)令和4年度	124回	2,695人

## 5 年金委員活動支援事業

### (1)年金委員委嘱者数

年金委員とは、政府が管掌する厚生年金保険や国民年金の事業について、会社や地域で啓発、相談、助言等の活動を行う民間協力員です。職域型と地域型の2つに区分され、職域型は主に事業所内での活動、地域型は自治会などの地域において活動していただいています。

職域型年金委員の委嘱を拡大するため、短時間労働者の適用拡大を見据え、年金委員が未設置の50人を超える事業所への勧奨を行いました。依頼文書の送付や電話勧奨などにより、山形県内では45名を委嘱することができました。

地域型年金委員の委嘱拡大については、教育関係者の委嘱を目指し、教育関係機関、市町村、自治会長など幅広く依頼を行い、山形県内では10名を委嘱することができました。

また、山形県年金協会連合会、山形県社会保険労務士会などの関係団体への年金委員推薦依頼を行っています。

事務所	令和4年度末 (A)			令和5年度 (B)			増減 (B)-(A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
山形	653	76	729	654	74	728	1	-2	-1
鶴岡	502	15	517	483	17	500	-19	2	-17
米沢	422	13	435	418	15	433	-4	2	-2
新庄	135	8	143	137	9	146	2	1	3
寒河江	272	19	291	268	22	290	-4	3	-1
合計	1,984	131	2,115	1,960	137	2,097	-24	6	-18
事業所数 (委嘱率)	20,045 (9.90%)	—		20,287 (9.66%)	—				

## (2) 職域型年金委員研修会の実施状況

主に事業所内で活動していただいている職域型年金委員を対象とした研修会を、全国健康保険協会山形支部との共催により実施しました。また、職域型年金委員で組織されている社会保険委員会の各支部主催の研修会に、講師として職員を派遣しました。

11月に行われた「令和5年度全国年金委員研修」には、オンライン形式で29名より視聴をいただきました。

事務所	回数	受講者数
山形	3回	335名
鶴岡	2回	176名
米沢	7回	229名
新庄	0回	0名
寒河江	2回	109名
全国	1回	29名
合計	15回	878名
(参考)令和4年度	15回	717名

### (3)地域型年金委員との連絡会等の開催状況

公的年金制度の相談や助言を行っていただいている地域型年金委員について、活動の活性化のため、県全体としては山形県地域型年金委員連絡会を開催し、各年金事務所においては地区連絡会を開催しました。情報の共有や委員相互の交流を図りました。また、広報誌「支えあい」や年金制度に関する資料の提供を行いました。

11月に東京で行われた「令和5年度全国年金委員研修」には、1名が現地参加し、34名がオンライン形式により参加をいただきました。

事務所	連絡会		研 修		合 計	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
山 形	4回	35名	0回	0名	4回	35名
鶴 岡	3回	14名	0回	0名	3回	14名
米 沢	2回	11名	0回	0名	2回	11名
新 庄	2回	6名	0回	0名	2回	6名
寒河江	2回	20名	0回	0名	2回	20名
県全体	2回	13名	—	—	2回	13名
全 国	—	—	1回	35名	1回	35名
合 計	15回	99名	1回	35名	16回	134名
(参考) 令和4年度	9回	73名	1回	14名	10回	87名

## (4)年金委員の功労者表彰式の実施

多年にわたり年金事業の推進および発展に貢献された年金委員の方々に対し、年金委員功労者表彰式を全国健康保険協会山形支部、山形県社会保険委員会連合会、山形県社会保険協会との共催により開催しました。

- 【開催日】 令和5年11月22日(水)  
【開催場所】 山形グランドホテル  
【受賞者】 厚生労働大臣表彰 2名  
日本年金機構理事長表彰 5名  
日本年金機構理事表彰 13名



※健康保険委員からは、全国健康保険協会理事長表彰1名、全国健康保険協会山形支部長表彰12名が受賞されました。



※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

## 6 「ねんきん月間」・「年金の日」の取り組み

日本年金機構は、厚生労働省と協力して11月を「ねんきん月間」、11月30日(いいみらい)を「年金の日」と位置付け、県民の皆様に年金制度を理解していただけるよう、積極的に公的年金制度の周知や啓発活動を行いました。

事務所	取組結果	
山形県内年金事務所 共通事業	令和4年度 年金委員・健康保険委員功労者表彰式	ねんきん月間
	第15回山形県年金ポスターコンクール表彰式	
	市町村・年金委員に対し「ねんきん月間」ポスター、チラシ、「ねんきんネット」リーフレットの配布	ねんきん月間
	令和5年度 全国年金委員研修会	ねんきん月間
	山形県社会保険協会主催「令和5年度 社会保険事務講習会」	通常事業
	ハローワークにおける離職者を対象とした説明会、資料配布	
	高校・大学等への年金セミナーアプローチおよび年金セミナー実施	
米沢年金事務所 新庄年金事務所	出張年金相談	通常事業
山形年金事務所	出張年金相談会(大型商業施設)	ねんきん月間

# 7 第15回山形県年金ポスターコンクール

東北厚生局をはじめ、山形県社会保険協会等7団体に後援をいただき、県内の中学生を対象として、年金制度に親しんでいただくため、年金をテーマとしたポスターを作成していただきました。

【募集期間】令和5年6月1日～令和5年8月31日

【賞】 最優秀賞1点、優秀賞5点、入選7点  
山形県社会保険協会会長賞1点  
東北厚生局長賞1点

【応募状況】応募校14校、総数90点(昨年度11校、94点)

入賞者には、県内年金事務所長が中学校を訪問し表彰を行いました。

## 最優秀賞



寒河江市立綾南中学校 3年  
今井 颯希 さん

## 山形県社会保険協会会長賞



鶴岡市立鶴岡第四中学校 3年  
佐藤 愛理 さん

## 第15回山形県年金ポスターコンクール

### 「年金」ポスター募集!

みんなを笑顔に  
公約年金



国民の皆さまに公的年金制度に対する理解を深めていただくため、山形県年金事務所において、その取組の一環として、「世代と世代の架け橋」という公的年金制度の基本理念のもと、次の世代を担う中学生の皆さんを対象に「年金」をテーマとしたポスターコンクールを実施いたします。

年金ポスター制作を通して、より身近な制度として公的年金について考えを深めたいと考えています。多くの応募を期待しております。

応募締切 令和5年8月31日(木) 選出先 日本年金機構 山形年金事務所 総務課課長  
〒990-9515 山形市あかが丘1-10-1

応募資格 山形県内の中学生

応募要項・提出方法等

- 作品は学校長の名前に署名します。
- テーマは年金に関するものとし、「年金」の文字を必ず入れてください。\*「みんなが笑える未来」\*「安心」「住み」の文字も入れてください。\*「みんなが笑える未来」\*「安心」「住み」の文字も入れてください。\*「みんなが笑える未来」\*「安心」「住み」の文字も入れてください。
- 縦横はA3サイズ(515×364mm)またはA4縦向き(297×210mm)のサイズ(540×381mm)の範囲にしてください。
- 作品の裏面に「学校名、学年、名前(フリガナ)」を記入してください。
- 応募作品の著作権は日本年金機構に帰属するものとし、応募作品は返却しません。
- 応募作品は、日本年金機構の広報に活用します。
- 応募締切後、応募作品の公開(学校名、学年名、学年名)を使用することについては、応募が終了した時点で了承されたものとみなします。
- 学校ごとの筆数とします。ご応募数が多い場合は、抽選を先に入れたものを発表させていただきます。
- 作品賞は抽選で決定させていただきます。

賞 最優秀賞、優秀賞、山形県社会保険協会会長賞、特別賞、東北厚生局長賞、入選、特別賞  
賞状は別途郵送いたします。(郵送賞は別途郵送)

発表 令和5年11月予定 令和5年11月～12月予定  
山形県内年金事務所から各校の学年へあいだいで賞状を郵送いたします。

<主催> 東北厚生局 山形県教育委員会 山形県中学校協会  
日本年金機構 山形県内年金事務所 一般財団法人山形県社会保険協会 山形県教団 山形教団 NHK山形放送局

## 東北厚生局長賞



米沢市立第一中学校 3年  
安部 梨緒奈 さん

## 8 「わたしと年金」エッセイ

国民の皆様には年金制度に対する理解を深めていただくため、中学生以上を対象に公的年金をテーマとしたエッセイの募集を行いました。

周知・広報については、教育機関、関係機関(団体)にポスターやリーフレットの設置のご協力をいただいたほか、年金セミナーの実施とあわせて依頼しました。

【募集期間】 令和5年6月1日～令和5年9月8日

【賞】 厚生労働大臣賞、日本年金機構理事長賞、優秀賞、入選

【応募状況】 応募総数1,609点（山形県の応募は1点）



## 9 第19回山形県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解を深め、制度の加入や国民年金保険料納付の向上に繋がるよう、地域における支援のネットワークを構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しました。

【開催日】

令和5年7月26日

【議事内容】

- ・令和4年度山形県地域年金展開事業 取組結果
- ・令和5年度山形県地域年金展開事業 事業計画

※会議後、山形県商工会連合会 太田委員よりご連絡をいただき、会員向け機関紙「商工連やまがた」に年金制度の記事を掲載させていただきました。